

2009年7月8日

ランクセス、2014年にシンガポールのブチルゴム製造拠点を稼働開始予定

～ 需要低迷による製造拠点の建設延期に伴い、大規模製造対応の新製造プロセスを導入 ～

ランクセス株式会社

特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、世界的な景気低迷を受け、シンガポールのブチルゴム製造拠点の稼働開始を2014年に延期することを決定しました。ランクセスは、この建設延期に伴い、ブチルゴムの製造プロセスに関し現在開発中の革新的な技術を確認し、新拠点に導入します。ランクセスは、10万トンの製造能力を備える新製造拠点に当初4億ユーロの建設費を投入し、2012年に稼働開始予定でした。

ランクセスは、早ければ2014年には生産能力の拡大が必要になると考えています。稼働開始を2年間延期することにより、最近開発された製造プロセスの画期的な技術を、新製造拠点において大規模生産に耐えうるレベルに引き上げることができます。シンガポール・ジュロン島の新製造拠点は、このプロセスを適用することにより、独自の工程技術を備えた世界最新の拠点となります。

新製造プロセスは、これまでパイロット試験の規模において成功しています。ランクセスは、このプロセスの採用を実現させるため、今後数年間で多大の投資を行います。この新しい製造プロセスは、利用する資源を可能な限り抑えるとともにエネルギー消費量を減らし、環境にも配慮します。現時点での新拠点への設備投資額は、当初予定よりも若干減少する見込みです。

ランクセスは今回のプロジェクト延期に影響されることなく、シンガポールにおける事業を今後も継続的に拡大していきます。現在ランクセスは、ブチルゴムビジネスユニットのグローバル事業本部を今後シンガポールに置くことを視野に入れ、シンガポール経済開発庁(EDB)と交渉中です。シンガポールは、ランクセスにとって東南アジアでの活動拠点であり、アジア地域戦略においても、重要な役割を引き続き担っていきます。ランクセスの東南アジアにおける全13ビジネスユニットの活動は、シンガポールで統括されています。

タイヤメーカー、ハンコック社との供給契約

ランクセスは、合成ゴムの世界市場における技術リーダーであり、全主要タイヤメーカーをはじめとする世界中の顧客に製品を提供しています。また、特にブレーキ性能など、走行特性を改善した省エネタイヤ用のさまざまな新ゴムグレードを含む、プレミアム分野に注力しています。最近では、韓国のタイヤメーカー、ハンコック社(Hankook)と5年間(2010年~2014年)にわたるブチルゴムの供給契約を結ぶなど、アジア市場の重要性は確実に高くなっています。ランクセスは2007年、既にハンコック社とスチレンブタジエンゴムとポリブタジエンゴムに関する長期的な供給契約を結んでいます。ハンコック社は、約14,000人の従業員を擁し、2008年度の売上高約25億ユーロを達成する世界第7位のタイヤメーカーです。

#

このリリースは、ドイツ・レバクーゼンで6月29日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。<http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約14,600人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。<http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00128J)